

サクランボ特報 NO.6

JA 中野市営農センター
JA 中野市サクランボ部会

毎日お仕事お疲れ様です。園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、気温の上昇とともにハダニ類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。
*雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として定期的にかん水を実施して下さい。

1. 薬剤散布

共通注意事項

- ① 隣接園（特に今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意してください。
- ② 散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないよう注意する。

*対象病害虫：灰星病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病、ケムシ類、コスカシバ、ハマキムシ類(アメリカシロヒトリ)

散布時期	・8月上旬（第8回定期散布から14日後）		
散布薬剤	水100ℓ当り		散布日 8月 日 散布量 ℓ
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	トレノックスフロアブル	200ml（21日前、5回）	
	サムコルフロアブル10	40ml（前日、3回）	
散布量	10aあたり 600ℓ		

*カイガラムシ類対策（特別散布：8月下旬）

カイガラムシ類の発生園は、アプロードフロアブル 1,000倍（収穫7日前、2回）を散布する。

※今年度の栽培日誌を提出していない方は、至急提出をお願い致します。（各センターまたは共選所）

次回特報発行予定日：8月中旬 問合先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）